

単機関研究用

研究課題名：当院における腎盂尿管移行部通過障害症例の予後調査

1. 研究の対象

2015年1月1日～2025年12月31日の期間に当院受診歴があり、腎盂尿管移行部通過障害と診断された患者さん

2. 研究目的・方法・期間

・研究目的、方法

腎盂尿管移行部通過障害とは、何らかの原因で腎盂尿管移行部がせまくなり、腎臓でつくられた尿の通りがわるくなり水腎症となる疾患です。その多くは生まれつきの形態的なものが原因であり、胎児期に超音波検査で診断されます。ただ、胎児期～小児期に特に問題を認めなかったとしても、成長に伴う体格の変化や腎盂尿管移行部の近くにある血管の発達などに伴い、腰痛や腎盂腎炎などの症状をきっかけとして医療機関を受診し診断される成人の方も少なくありません。治療に関しては有症状時や腎機能低下時に手術適応となり、当科においては近隣医療機関や当院小児科等からの紹介をうけ、適応を吟味した上で腎盂形成術を行っています。本研究は、当院における腎盂尿管移行部通過障害と診断された方の診療の状況を明らかにすることが目的です。

対象患者さんのカルテから、本研究の調査に必要な情報を抽出させていただき解析を行います。

・研究期間 研究実施許可日 ～ 2026年12月31日

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：患者ID（情報管理に使用）、年齢、性別、身長、体重、主訴、診断名、既往歴、合併症、バイタルサイン（体温、血圧、脈拍、呼吸数、酸素飽和度）、血液検査結果（赤血球数、白血球数、ヘモグロビン、ヘマトクリット、血小板数、白血球分画、総蛋白、アルブミン、総ビリルビン、AST、ALT、BUN、クレアチニン、電解質、CRP）、尿検査結果、画像検査結果（超音波、X線、CT、MRI、RI、尿路造影）、治療歴（治療内容、治療効果）

試料：なし

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。
ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、情報等が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としますので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

《照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先》

住 所：〒849-8501

佐賀県佐賀市鍋島5丁目1番1号

佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科

担 当 者：泌尿器科 助教 前田晃宏

電話番号：0952-34-2344

《研究責任者》

佐賀大学医学部附属病院 泌尿器科 教授 野口満

【この研究の試料・情報の取扱い】

倫理委員会の承認を受けた研究計画書に従い、お預かりした情報等には個人を識別できないよう処理を行い、ご協力者の方の氏名や住所などが特定できないよう安全管理措置を講じたうえで取り扱っています。

このお知らせは研究実施許可日より2026年12月31日までの間、研究対象となる患者さんへの公表を目的に、佐賀大学医学部附属病院臨床研究センターホームページに掲載しているものです。

佐賀大学医学部附属病院臨床研究センター <http://chiken.med.saga-u.ac.jp>

なお、この研究内容は佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会で審査を受け、研究機関の長の許可を受け実施されています。臨床研究センターHPでは、佐賀大学医学部附属病院臨床研究倫理審査委員会に関する他の情報等も公表していますのでご覧下さい。